

令和3年1月4日

令和2年度病院長報告会

九州大学病院長 赤司浩一



1. 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 本院の経営について

(2) 本院の取組の概要

(3) 患者の受入状況

(4) 今後の診療体制

2. 別府病院再開発

3. 周術期支援センターの拡充と外来の機能強化

4. 手術室の増室

1. 病院の経営について
2. 診療機能強化のための取組
3. 働き方改革の推進
4. 地域医療機関との連携による外来診療の精選
5. 別府病院再開発
6. トピックス（新しい医療の取り組み）

【 POINT 】

20室→**21**室 令和3年2月を運用開始予定

効率的な手術室の実現

- ・1室で複数の手術が可能。
- ・術式、領域固定をしない。
 - 内視鏡を使用した手術
 - 歯科の手術

既存の手術室の効率的運用

- ・手術室の広さ、設備の充実を見越した差別化
 - 多様な器材、モニタを活用した先進的手術への対応
 - 1日に3件以上の手術を実施する

2013年4月より、周術期支援センター活動開始（対象診療科：6科）
→手術数が年々増加し、**安全で効率的な周術期管理**がより一層重要になった

①**全ての成人麻酔科管理症例について対象を拡大**
(2019年7月より6科から13科へ)

②**入院時支援業務の充実**（2019年10月より整形外科、1月より1外科、2外科での入院時支援業務の開始）

→安心して入院医療が受けられるよう、**治療の説明、薬の確認等を入院前の外来で実施**

センター受診患者数(月間)
《拡大前》400人
《拡大後》800人



入退院・周術期支援センターとして、**外来棟1Fに移転予定**
院内、院外の橋渡しでのキーパーソンとなる組織の一つとし、
外来から入院のワンストップの患者サービスを目指す。

外来棟 1 階のホスピタルストリートにおける診療ブースの効率化、**入院ワンストップ管理**の強化

- ・ 福利厚生施設（食堂・売店等）の再配置
- ・ 入院エリアと外来エリアの明確化
- ・ **入退院・周術期支援センターの移転**
→入院前の支援から外来棟 1 F において実施

整備予定

工事：令和 2 年 10 月～令和 3 年 3 月

稼働：令和 3 年 4 月

入院・周術期支援機能を集約

医療連携センターの一部



周術期支援センターの拡大と外来の機能強化

外来診療棟1階環境整備

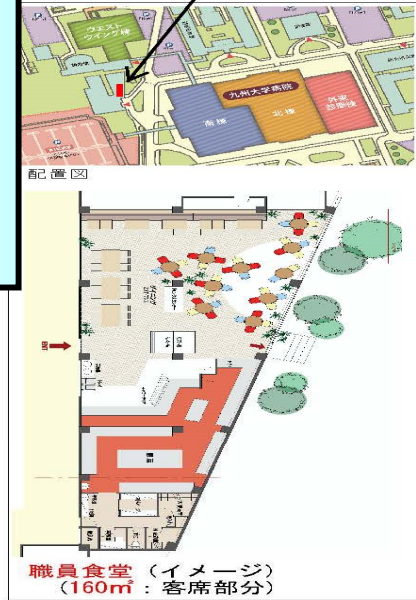
別紙3 FLOOR GUIDE

1階 外来診療棟

外来棟1Fの機能強化 ・入院・周術期支援機能を集約

(令和3年4月予定)
→入院前から支援を実施することにより、診療の効率化と経営面の改善(平均在院日数短縮)を図る。

- ・入院エリアと外来エリアの明確化
- ・福利厚生施設(食堂・売店等)の再配置
- ・患者案内表示システム、自動精算機の更新



外来診療棟
1階

1. 病院の経営について
2. 診療機能強化のための取組
3. **働き方改革の推進**
4. 地域医療機関との連携による外来診療の精選
5. 別府病院再開発
6. トピックス（新しい医療の取り組み）

平成31年4月に働き方改革関連法施行
**年次有給休暇5日の取得義務が本年1月から本院の
多くの職員に適用**

年休付与日から1年間に5日の年休取得が必要

2020.12末



2019.4 法施行
4月以降に10日以上
の年休が付与される
職員に適用



2020の1月1日に10日以上
の年休が付与された職員は、
2020.12末までに5日
の年休取得が必要

対象期間が一定程度経過したのち、5日の年休取得の可能性が低い方には、診療科長等から**年休の取得日の指定（時季指定）**を行います。

計画的に年休を取得し、心身のリフレッシュを図りましょう

平成31年4月に働き方改革関連法施行
労働時間の客観的な把握が義務化



新たな勤怠管理システム（Dr.JOY）を整形外科、心療内科で試行中



医師が、出退勤時にICチップ・カード、WEB又はアプリで打刻 → **在院時間を把握**

→ 試行結果を踏まえ、全ての診療科への **拡大を検討**

【**現在の課題**】

システムの不具合

打刻率

在院中の自己研鑽等 **勤務外活動の把握**

インフォームドコンセントの平日診療時間内実施 〔平成31年4月～〕

**緊急でない患者や家族への病状説明、
手術・処置の説明、相談対応等を、
原則として平日の診療時間内（9:00～
17:00）に実施**

**本院の医療の質や安全を確保しつつ、
医師をはじめとする**職員の負担軽減と
労働時間の短縮**に向けた取り組み**

病状説明等（インフォームド・コンセント）の実施時間について
ご協力のお願い

現在、医師をはじめとする病院職員の長時間労働が社会問題となっており、厚生労働省より、すべての医療機関に対して、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取り組みが求められています。そのため、本院の医療の質や安全を確保しつつ、医師をはじめとする職員の負担軽減及び労働時間の短縮に向けた取り組みの一つとして、緊急でない患者さんやご家族への病状説明等を、平成31年4月以降、以下のとおり行います。

病状説明・手術・処置の説明・相談対応等は、原則として、
平日の診療時間内（9:00～17:00）に行います。

※ 診療科から申し出る場合を除き、患者さん、ご家族等により
夜間・休日の説明を求められてもお断りする場合があります。

引き続き、すべての患者さんに対して、各種の診療業務を効果的かつ効率的に、
また公平に行ってまいりますので、患者さんやご家族の皆様におかれましては、
ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

九州大学病院長

1. 病院の経営について
2. 診療機能強化のための取組
3. 働き方改革の推進
4. 地域医療機関との連携による外来診療の精選
5. 別府病院再開発
6. トピックス（新しい医療の取り組み）

【現状】 外来患者数 1日 約3,000人

- ・ 外来患者の **93%** を再来患者が占める。
- ・ 大学病院としての使命を果たすためにも **限られた診療時間での優先度を考える必要がある。**



再来患者向けにポスターを作製中
症状が安定した患者に自宅近くの医療機関（かかりつけ医）を紹介する案内と共に、引き続き、本院で治療を継続する場合は、**再診時選定療養費 2,700円を診察の度に負担していただくことを明記**



**地域の医療機関への逆紹介を促進し
10%程度の再来患者数の削減を目指す**

近日公開予定→

当院は特定機能病院です

「かかりつけ医」を作しましょう

症状の安定期はお近くの病院へ

地域の医療機関
(かかりつけ医)

- 日常的な診療や健康管理
- 定期的なお薬の処方
- 症状安定期の治療
- 専門病院のご紹介

九州大学病院

- 重症・重篤患者に対する医療
- 精密検査や手術・難病の治療
- 専門治療が必要な外来・入院治療
- かかりつけ医へのご紹介

九州大学病院で症状が落ち着いた患者さんには、継続的に適切な治療が受けられるように、お近くのかかりつけ医の紹介をいたします。

安定期の医療を九州大学病院で継続して受けることもできます

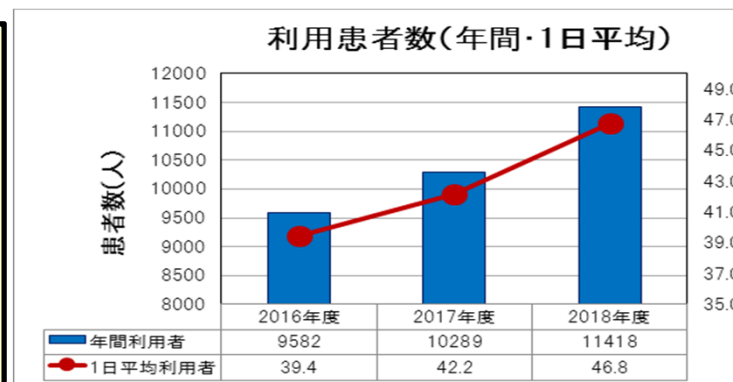
●その場合、通常の診療費に加えて診療のために
再診時選定療養費 2,700円を診察の度にご負担頂いております。

医療機関相互の役割分担及び業務連携を推進するこの制度は、平成28年4月より厚生労働省により制定されたものです。

お問い合わせ 九州大学病院 ○○○○○○ TEL.092-642-XXXX

背景

本院では、**外来化学療法**の患者が**急速に増加**し、これ以上の受け入れが困難になってきている。
 一方で、地域医療機関の外来化学療法室には**受入れに余裕のある施設**もある



直近3年間の外来化学療法室利用者数

**九大病院がんセンターを中心に地域医療機関と、
 外来化学療法ネットワークを構築**

令和元年6月～ 福岡和白病院と浜の町病院と連携開始→今後連携先を拡大

取組

- ・地域医療機関で**共通レジメン**による外来化学療法を実施
- ・**がん相談支援センター**による連携機関との調整

期待される効果

- ・患者数の適正化、地域のがん化学療法の**均てん化の推進**
- ・患者の早期治療が可能となり、**待ち時間が減少**

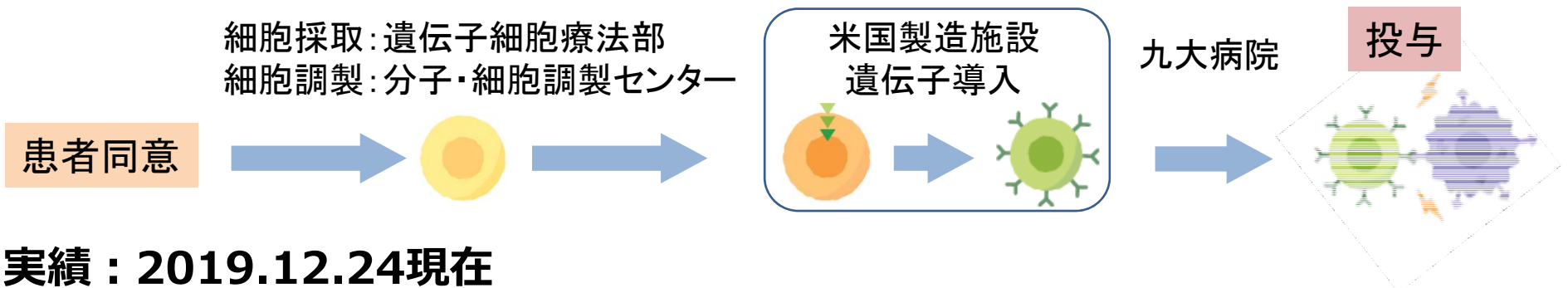
1. 病院の経営について
2. 病院機能強化のための施設整備
3. 働き方改革の推進
4. 地域医療機関との連携による外来診療の精選
5. 別府病院再開発
6. **トピックス（新しい医療の取り組み）**

平成30年2月16日 九大病院が、**がんゲノム中核拠点病院**に指定
 令和元年6月1日 2つのがん遺伝子パネル検査保険収載
 令和元年8月1日 九州大学病院にて**保険診療開始**

実績：2019.11.30現在

・九州大学病院検査依頼（検体提出）件数			81件
(内訳)	FoundationOne ® CDx がんゲノム プロファイル	ファウンデーションメディシン社（米 国）が開発した遺伝子パネル検査 324の遺伝子に関する変異を検出	54件
	OncoGuide™NC Cオンコパネルシ ステム	国立がん研究センター中央病院と Sysmex株式会社が共同開発した遺伝子 パネル検査 114の遺伝子に関する変異を検出	27件
本院検体提出件数のうちエキスパートパネル実施件数			47件
・連携病院のエキスパートパネル実施件数			31件

令和元年5月22日 **ノバルティス社のキムリアが保険収載 (3349万)**
 令和元年9月18日 本院が治療提供施設に認定 (全国9施設:2019.12.24現在)
 令和元年9月18日 院内に細胞免疫治療委員会を設置



実績：2019.12.24現在

・九州大学病院治療件数	
患者同意	4例
細胞採取および細胞調製	3例
患者投与 (2019.12.09)	1例

課題

- ・使用できる枠（スロット）に1症例/月という制限があり、治療希望に对应されていない。現在は、細胞免疫治療委員会を設置し適応患者を選定している。
- ・来年度以降はスロットが増設される予定であり、遺伝子細胞療法部および分子・細胞調製センター（MCPC）の受け入れ体制を整備する必要がある。

<理念>

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。



～本年も、どうぞよろしくお願ひします。ご清聴、ありがとうございました。～